



岡山市区づくり推進事業助成申込書

(地域活動部門)

平成 28年 6月 23日

岡山市長 大森 雅夫 様

フリガナ カメヤマジョウセキホゾンカイ
団体名 亀山城跡保存会
所在地 [Redacted]
連絡先 [Redacted]
フリガナ ツゲ セイジ
代表者氏名 会長 津下 誠治

※ 提出した申込書の内容が、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。
ただし、個人情報に関する部分は除きます。

応募分野	(該当の分野を○で囲んでください。) ア 地域課題解決 イ 地域課題掘り起し ⓪ 地域計画づくり エ 地域課題解決型の地域組織づくり オ その他
事業名称	浮田ふるさと再発見事業
事業実施区域(小学校区)	浮田学区 (亀山城跡 他)
事業実施回数	新規 ・ 継続 3 回目 (26年度から)
課題	<p>戦国の雄、岡山開府の祖と言われる宇喜多直家・秀家親子、その直家が戦国大名に名乗りを上げた居城は亀山城、また豊臣秀吉に信頼を得て五大老の一人にまで上りつめた秀家の人生の始まりは亀山城にあります。しかも、この亀山城西の丸は浮田小学校の敷地内にあり、『亀山城の城跡に』始まる校歌を歌った多くの学区民に郷土の偉大な先人と亀山城という郷土の歴史遺産を正しく理解し関心を持ってもらい、多くの方々に広めていく事業であります。</p> <p>この事業も3年目に入り、岡山市指定史跡の歴史遺産を今後、持続可能な維持・管理に展開していく。また、「亀山城跡しおり」を活用してPRし、多くの方々に訪問して頂き感動を与えられる事を目指します。</p>
事業の目的・目標	<p>宇喜多直家飛躍の地・秀家生誕の地である亀山城跡をこの地域の歴史遺産として、継続的に保存し後世に引き継ぎ地域おこしの一躍を担うことを目的とします。</p> <p>また、岡山市指定史跡に指定された、この貴重な郷土遺産を地域住民をはじめ、区内外の多くの方々に知って頂きたい。</p>

事業の内容	<p>1. 亀山城跡と周辺の調査・研究（亀山城跡保存会会員の現場研究）</p> <p>2. 講演会の開催 宇喜多氏をはじめ西国戦国大名の研究者、著書も多い渡邊大門氏（歴史学者）を予定。昨年度の講演会参加者約 170 人を更に増員</p> <p>3. 城跡清掃管理 地元町内以外に各町内会及び学生ボランティア活動等広く清掃活動と呼び掛ける。</p> <p>4. 亀山城跡保存会会員の募集 正会員・賛助会員の現在の会員数約 370 名を 20 名程度増員</p> <p>5. 公民館と連携を取り広く事業を推進する。 地元公民館だけでなく、他の公民館にも広報活動等を拡張する。</p>
期待される成果	<p>亀山城は関ヶ原合戦に勝利した徳川家康により宇喜多秀家に代って岡山城に入城した小早川秀秋によって天守を岡山城の大納櫓に移築した他は全てを取り壊し廃城となり、当時の城の姿形が見えないことから史跡調査の専門家を招致して会員自ら城跡の調査、勉強会を行い、町民に広報として郷土の歴史遺産に一層の親しみを持ってもらえると思います。</p> <p>また、昨年の亀山城跡しおりの発行により亀山城跡を訪問する人が増えていますが、上項事業の内容によって地域活動の活性化が一層図れると考えます。</p>
企画などの工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・ 亀山城跡の調査・研究 現地での勉強会も含める。 ・ 講演会講師の選定と演題 関ヶ原合戦、朝鮮出兵時の宇喜多秀家などの内容も含める。 ・ 城跡の清掃管理等の人員配置 亀山城跡を知ってもらう為に各団体にも呼び掛け多くの人の参加を推進。 管理面で、国道より城跡への案内標識を良く目立つ物に改修、古い軍旗を新しくする。
事業の情報公開	<ul style="list-style-type: none"> ・ 岡山市電子町内会浮田学区連合町内会ホームページの亀山城跡保存会便り等。 ・ 小学校、中学校への催し物等の情報提供。 ・ 公民館を通じての情報提供。 ・ 亀山城跡しおりを基に保存会会員募集活動を通じて情報提供。
次年度以降の予定	<p>①次年度以後の活動計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 亀山城と関連する周辺の調査と研究 ・ 歴史講演会の開催 ・ 城跡の清掃及び管理 ・ 亀山城跡保存会会員の募集 <p>②資金の確保について</p> <p>■次年度も区づくり推進事業を申請する予定</p> <p>□（ ）年後には、自己資金を確保して地域の独自展開をしていきたい。</p> <p>○資金確保の具体的な方策：</p>
その他PRしたい点	<p>亀山城は宇喜多直家が 14 年間居城し、その間推定 15 万石の備前の国を統一し戦国大名に名乗りを上げた、直家飛躍の城であるとともに、豊臣秀吉政権の下で徳川家康、前田利家らと共に、五大老の一員となった秀家生誕の城です。また城郭が大規模で曲輪が良好に残っていること、旧備前国で戦国期の代表的な城であることなどから重要な歴史遺産であると認められ、平成 24 年岡山市の指定史跡に指定されたこと。</p>

事業スケジュール

月日	活動内容
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 亀山城跡保存会運営委員会 ・ 平成28年度亀山城跡保存会理事会
5月	
6月	<p>年間を通して都度、亀山城跡保存会会員を募集。 「亀山城跡しおり」等により、広く PR 活動を目的とし実施する。</p>
7月	
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 岡山の開祖宇喜多氏飛躍の地 第7回うきだ振興まつり
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 運営委員会(今年度事業の企画等) ・ 亀山城跡の清掃・管理(浮田小学校と合同)
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 城跡と周辺の軍旗を取り換え
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 亀山城跡の案内標識等の改修打ち合せ ・ 亀山城跡の清掃・管理(上道中学校と合同)
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 郷土の歴史講演会の準備 ・ 亀山城跡の清掃・管理(上道中学校と合同)
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 郷土の歴史講演会の準備 ・ 亀山城跡の案内標識改修工事
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 郷土の歴史講演会の準備 ・ 講演会開催
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 運営委員会(今年度事業の反省等)

収 支 予 算 書

◆ 収 入

H27年度

H28年度

単位:円

項 目	前年度決算	予 算	備 考
岡山市補助金	120,200	241,500	(100円未満の端数切捨て)
実施団体負担金	104,490	136,200	亀山城跡保存会
浮田学区連合町内会助成金	0	105,400	
参加者負担金	0		
協賛金	0	0	
寄付、他収入	17,511		
計	242,201	483,100	

◆ 支 出

単位:円

項 目	前年度決算	予 算	備 考
消耗品費	35,845	120,000	別紙添付資料を参照
食糧費	24,873	11,500	"
印刷製本費	45,151	70,000	"
通信運搬費	9,692	11,600	"
原材料費	76,640	100,000	"
委託料	0	20,000	"
報償費	50,000	100,000	"
旅費	0	50,000	"
計	242,201	483,100	

◆ 概算交付の要否(いずれかに○をしてください)。(補助金額が20万円を超える場合のみ)

補助金の概算払いを	希望する	希望しない
-----------	------	-------

※「希望する」場合は、その理由を具体的にお書きください

注①：前年度決算額が確定していない場合は、見込み額を記入してください。

注②：支出の費目は、消耗品費・食糧費・印刷製本費・旅費交通費・通信運搬費・謝礼金・会場使用料・保険料など適当な費目に分けて記入し、備考に積算内訳を記載してください。

※記入欄に書ききれないときは、別紙として添付してください。

平成28年度 岡山市区づくり推進事業助成申請書

収支予算書に関する別紙添付資料

平成 28 年 6 月 23 日

支出の費目の内訳

単位：円(100円未満の端数切捨て)

項 目	予 算	予算の内訳
消耗品費	120,000 (15,000) (5,000) (100,000)	✓ ・プリンタ関連 ・講演会関連(花、履物の袋等) ・軍旗(100枚)
食糧費	11,500 (2,000) (6,500) (3,000)	✓ ・会議用の飲料(10人) ・講演会準備、支援用の飲食料(20人) ・亀山城跡等の調査研究の飲料(30人)
印刷製本費	70,000 (50,000) (15,000) (5,000)	✓ ・講演会のチラシ(200枚)、ポスター(50枚) ・講演会の資料(200部) ・会員証の作成(30枚)
通信運搬費	11,600 (8,200) (3,400)	✓ ・講演会チラシの送付(100人) ・会員証等の送付(30人)
原材料費	100,000	✓ ・亀山城跡ルート案内等表示の改修(材料、塗料等)
委託料(設置)	20,000 (20,000)	✓ ・ルート案内等表示板の設置(延べ3日)
報償費	100,000 (100,000)	✓ ・講演会講演料
交通費	50,000 (50,000)	✓ ・講演会講師用等
合 計	483,100	